

野々市市子ども読書活動推進計画（第三次）の

（令和2年3月策定）

評価結果に関する資料

令和6年3月

野々市市教育委員会

「野々市市子ども読書活動推進計画(第三次)」(令和2年3月策定)の評価について

(1)評価の根拠

市内の子どもの読書に関わる部署・機関の施策及び事業の充実に役立てるため、計画の進捗状況を定期的に点検を行います。また、計画最終年次の前には計画の評価を行い、次期計画にその結果を反映させます。(本計画「4. 推進体制」より抜粋)

(2)評価の目的

評価の結果を、各部門の今後の施策・事業の充実に役立てていく。また、第四次計画策定の際(令和6年度予定)の参考にする。

(3)評価の体制及び流れ

生涯学習課が、各部署・機関・施設が個別に作成した進捗状況チェックシートを取りまとめる。その資料をもとに、野々市市子ども読書活動推進連絡会が内部評価(一次評価)を行う。内部評価の結果は市立図書館協議会が行う外部評価(二次評価)の資料とする。

(4)評価の方法

- ① 進捗状況チェックシートは、生涯学習課が作成する様式(アンケート形式)に、各部署・機関・施設の担当者が記載する方法をとる。
(R2年度より毎年実施)
- ② 内部評価は、生涯学習課がまとめた進捗状況チェックシートの取りまとめ資料をもとに、野々市市子ども読書活動推進連絡会の委員が、施策について評価する。
- ③ 外部評価は、内部評価結果について、図書館協議会委員が意見を述べる方法とする。

(5)評価の公開

外部評価の結果は市ホームページ等を通じて公開する。

外部評価委員（市立図書館協議会）の意見

- ◆ 第三次計画の計画期間（令和2（2020）～6（2023）年度）には、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行という未曾有の出来事があり、人間同士が接触できない、また本にも接することができないといった読書活動を推進する上での大きな障害があった。そのため、コロナ前の令和元（2019）年度に設定された各評価指標において、実績値が目標値を下回る項目がいくつか見られるが、やむを得ぬことである。
よって、第三次計画の評価は数値だけでは測れない面があり、取組を実施しなかった（できなかった）理由なども考慮して判断すべきと考える。良くなかった指標については良くなるように努力していただければ幸いである。
- ◆ コロナ禍のためやむを得ない面があるが、目標値の設定が高すぎて現状に合っていないように思われる個所があった。今よりも少し努力したら届く所に目標値を設定すると、現場の職員の意欲も高まると思われるので、次期計画策定の際は工夫してみてください。
- ◆ 第2期の幼児期（概ね3～5歳）の施策の達成度が、コロナ禍の影響もあって遅れているとなっているが、各保育園等で食育に関する絵本を紹介した後にクッキング活動を行う取組や、給食の先生と協力して絵本から飛び出すご飯やおやつを紹介する取組が素晴らしい。
子どもが読書の楽しみを知る非常に重要な時期なので、とても忙しい時期ではあるが保護者にも周知していただきたい。
- ◆ 第5期の青年中期（概ね16～18歳）の指標で、本計画のまさにアウトカム評価ともいえる「月に1冊以上本を読んだ生徒の割合」というものがある。R4年度の実績値が39%となっており、各年代に向けた様々な施策の実施率の高さから考えると、本を読んだ生徒がもう少し多くても良いように思われるが、何が起因して読書が好きになるかは人それぞれであり、絵本の読み聞かせがきっかけとなる人もいれば、周囲にいつでも読みたい本が読める施設があることが理由となる人もいるかもしれない。
本好きになるきっかけとなるものを、幼いころからたくさん見せてあげられる、読書に親しめる良い施設（図書館に限らず）がたくさんある野々市市を目指すのが本計画の趣旨であることを再確認した。
- ◆ 平成29（2017）年度に開館した学びの杜のいちカレードが、旧来の図書館機能だけでなく、あらゆる分野の市民活動に広く対応した施設となっている所が良い。読書の推進から、人が生きることへとつながっていくような計画が理想的である。目標値に捉われることなく、時代に合った具体的な施策を作り、第四次計画につなげていただきたい。

評価資料の見方

◆数値の見かた

【施策の評価】

施策の方向性の各項目(A、B、C…)に属する取組の、評価指標の目標値に対して達成した度合を算定し、(取組が複数ある場合はその平均値)下表の評価の区分に当てはめたもの。

※目標値を達成した取組については、100ptを超えて計算することとする

【目標値】

本計画策定時の令和元(2019)年度に基礎調査を行い、その前年度(平成30年度)の実績値をもとに各実施主体が設定した値。

◆評価の区分

施策の達成度	90.0pt～	順調
施策の達成度	80pt～89.9pt	概ね順調
施策の達成度	60pt～79.9pt	やや遅れている
施策の達成度	0pt～59.9pt	遅れている

第1期 乳幼児期(概ね0～2歳)

○施策の方向性

- A. 子どもが本と出会う機会をつくる 《読み聞かせ、おはなし会、ブックスタート
- B. すべての親子に働きかける 《ブックスタート、プレパパママのおはなし会
- C. 家庭での読み聞かせを推奨する 《図書の貸出》

◎評価指標

施策「A」に属する取組が、評価指標の目標値に対して、達成した度合(二つの取組の平均値)を

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
順調	概ね順調	遅れている
順調	順調	－
概ね順調	概ね順調	やや遅れている

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			実施しなかった又は遅れている理由
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
A、B、C	ブックスタートパックの手渡し率	市立図書館	98%	95%	96%		
A	乳幼児の親子を対象とした読書に関する催しに参加した子どもの数の合計	子育て支援センター 児童館 市立図書館	約2,000人	2,322人	1,444人		

R4年度中の各実施主体の取組合計を示す

◎発達段階をまたぐ指標

施策の 方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			実施しなかった 又は遅れている理由
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
C	子ども向け(第1～2期)の本の貸出冊数の合計	保育園等	約15,000冊	9,358冊	10,612冊	10,175冊	㊦・㊧・㊨
	子ども向け(第1～3期)の本の貸出冊数の合計	児童館	約900冊	962冊	896冊	168冊	㊨
	0～6歳の子どもに対する貸出冊数	市立図書館	50,000冊	37,420冊	39,085冊	32,695冊	
	第1～4期の子どもに対する貸出冊数の合計	公民館等	約1,100冊	571冊	902冊	882冊	

※集計対象: 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童5館、公民館等4か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【㊨その他の理由】

上表の取り組みを実施しなかった理由を載せる（右枠内参照）

【新規の取り組み】

計画策定時以降に始めた取り組み、または今後始める予定の取り組みを載せる

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果が無い、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから

《所見》

(1) 発達段階に応じた家庭、地域、学校、社会全体における取組の推進

第1期 乳幼児期(概ね0～2歳)

○施策の方向性

- A. 子どもが本と出会う機会をつくる 《読み聞かせ、おはなし会、ブックスタート》
- B. すべての親子に働きかける 《ブックスタート、プレパパママのおはなし会》
- C. 家庭での読み聞かせを推奨する 《図書の貸出》

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
順調	概ね順調	遅れている
順調	順調	-
概ね順調	概ね順調	やや遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
A、B、C	ブックスタートパックの手渡し率	市立図書館	98%	95%	96%	-	
A	乳幼児の親子を対象とした読書に関する催しに参加した子どもの数の合計	子育て支援センター 児童館 市立図書館	約2,000人	2,322人	1,444人	986人	

◎発達段階をまたぐ指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
C	子ども向け(第1～2期)の本の貸出冊数の合計	保育園等	約15,000冊	9,358冊	10,612冊	10,175冊	㊦、㊧、㊨
	子ども向け(第1～3期)の本の貸出冊数の合計	児童館	約900冊	962冊	896冊	168冊	
	0～6歳の子どもに対する貸出冊数	市立図書館	50,000冊	37,420冊	39,085冊	32,695冊	
	第1～4期の子どもに対する貸出冊数の合計	公民館等	約1,100冊	571冊	902冊	882冊	

※集計対象: 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【㊦その他の理由】

駐車場のスペースが少なく、長時間の停車が難しいから。

(保育園等)

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果がなく、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

【第1期・新規の取り組み】

- ・ あかちゃんパック(赤ちゃん向けのおすすめ絵本のセット)を貸し出す
- ・ 園開放に来園した未就園児保護者におすすめの絵本の紹介し、絵本の貸出を行う
- ・ 親子で手作り絵本「お弁当バス」の制作を行う
- ・ なかよしの日の未就園児交流を利用して、未就園児の保護者の方に野々市市読書の日読書活動4箇条を知らせたり、お勧め絵本の読み聞かせを行う

(市立図書館)

(保育園等)

(保育園等)

(保育園等)

《所見》

保育園では、コロナ禍のため、保護者には園内に入らないようお願いしていたことから、貸出数が一時伸び悩んだが、現在は保護者は園内で子どもと絵本を選ぶ環境が整っている。

公民館では対象年齢の来館者が少ないため、子どもに対する貸出冊数が伸び悩んだ。(中央公民館を除く)

第2期 幼児期(概ね3～5歳)

○施策の方向性

A. 子どもが読書を楽しむ機会をつくる 《読み聞かせ、おはなし会》

B. 家庭での読み聞かせを推奨する 《図書の貸出》

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
遅れている	概ね順調	遅れている
やや遅れている	やや遅れている	やや遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
A	幼児を対象とした読書に関する催しの参加者数の合計	児童館 公民館等 市立図書館	約1,700人	721人	1,381人	142人	㊦、㊧、㊨、㊩

◎発達段階をまたぐ指標【再掲】

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
B	子ども向け(第1～2期)の本の貸出冊数	保育園等	約13,200冊	9,092冊	10,091冊	9,914冊	㊦、㊧、㊨
	子ども向け(第1～3期)の本の貸出冊数	児童館	約900冊	962冊	896冊	168冊	
	0～6歳の子どもに対する貸出冊数	市立図書館	50,000冊	37,420冊	39,085冊	32,695冊	
	第1～4期の子どもに対する貸出冊数	公民館等	約1,100冊	571冊	902冊	882冊	

※集計対象: 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課
(未満児のための保育施設に移行した保育園は合計から除外した)

【㊨その他の理由】

駐車場のスペースが少なく、長時間の停車が難しいため。

(保育園等)

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果がなく、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊦ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊧ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊨ 予算の確保が難しいから
- ㊩ その他

【第2期・新規の取り組み】

- ・ 年4回発行する食育だよりに、季節の食べ物に関わる絵本の紹介を行うとともにクラスでも読む (保育園等)
- ・ 食育に関する絵本を紹介して園でクッキングして様子を知らせたり、家庭でも絵本を読んでもらうよう推奨した (保育園等)
- ・ 保護者にアンケート調査お子様の好きな本、お勧めの絵本)を行い、結果を伝える (保育園等)
- ・ クラスのおすすめ絵本を貸し出す (保育園等)
- ・ 給食の先生に協力してもらい、「絵本から飛び出すご飯、おやつ」をテーマに毎月1回絵本の紹介 (保育園等)
- ・ ボランティアによる絵本の読み聞かせを行う (保育園等)
- ・ 市が推奨する読書の期間にお話会を行った。子どもたちの様子を写真に撮りその内容をドキュメンテーションにし、保護者に年齢にあったお勧め絵本を紹介する (保育園等)
- ・ 絵本の貸出を開始する(令和6年度から開始予定) (保育園等)

《所見》

3歳以上児になると、保育園等での集団生活を開始するため、対象年齢の子どもの来館が少なくなることから、催しも未就園児中心とならざるを得ない。地区公民館は一人職場であり、子どもの読書に関する事業を単独で行うには困難がある。また、児童館や保育園等の専門の施設があるため、対象年齢の子どもの来館自体が少ない状況である。保育園等では、コロナ禍のため、保護者に園内に入らないようお願いしていたことから、貸出数が一時伸び悩んだが、現在は、コロナ禍前のような環境が整っている。

第3期 学童期（概ね6～12歳）

○施策の方向性

- A. 本を読み活用する力を育てる
 ≪図鑑や科学絵本を楽しむ機会を増やす、調べる学習、読書感想文・感想画など≫
- B. 読書をする機会、様々な図書に触れる機会を拡充する
 ≪朝読、家読、子ども同士で本を紹介し合う取組≫
- C. 図書館等への来館を促す≪図書館訪問（招待）、図書館での催事の開催、スタンプラリーなど≫

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
順調	順調	順調
順調	順調	概ね順調
概ね順調	概ね順調	やや遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考（実施しなかった又は遅れている理由等）
			（R6年度）	R4年度	R3年度	R2年度	
B	朝読に取り組む学校の割合	小学校	100%	100%	100%	100%	
B	月1回以上、家読に取り組む学校の割合	小学校	100%	80%	80%	80%	
C	児童一人当たりの貸出冊数	小学校	106冊	79冊	77冊	67冊	㊦
C	7～12歳の子どもに対する貸出冊数	市立図書館	110,000冊	72,046冊	84,930冊	74,503冊	
B、C	読書に関する催しの参加者数の合計	児童館 公民館等 市立図書館	約430人	517人	444人	244人	

◎発達段階をまたぐ指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考（実施しなかった又は遅れている理由等）
			（R6年度）	R4年度	R3年度	R2年度	
A	調べる学習コンクールの出品点数	小学校 中学校	約670点	960点	1,112点	1,069点	
C	子ども向け（第1期～3期）の本の貸出冊数	児童館	約900冊	962冊	896冊	168冊	
	第1～4期の子どもに対する貸出冊数	公民館等	約1,100冊	571冊	902冊	882冊	

※集計対象：小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【第3期・新規の取り組み】

- ・一言感想と手作りしおりをプレゼントする
- ・お話大好きスペシャル(小学生以下を対象とした絵本読み聞かせ会)を実施する

(公民館等)

(児童館)

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果が無い、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

《所見》

小学校では、図書館の来館者が休み時間に集中し、児童数の多い学校は特に職員が貸出手続きに追われる様子が見られる。

○施策の方向性

- A. 本を読み活用する力を育てる《調べ学習、読書感想文・感想画、おすすめ図書など》
 B. 読書をする機会、様々な図書に触れる機会を拡充する《朝読、ビブリオバトルなど》
 C. 働きかけを行う側に立つ機会をつくる《図書館での職場体験、POPづくりなど》

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
順調	順調	順調
やや遅れている	やや遅れている	やや遅れている
やや遅れている	やや遅れている	遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考（実施しなかった又は遅れている理由等）
			（R6年度）	R4年度	R3年度	R2年度	
B	週1回以上、朝読に取り組む学校の割合	中学校	100%	100.0%	100.0%	100.0%	
B、C	ビブリオバトルの取り組み回数	中学校	実施	実施せず	実施せず	実施せず	㊦
B	生徒一人当たりの貸出冊数	中学校	26冊	16冊	16冊	13冊	㊥・㊧
B	13～15歳の子どもに対する貸出冊数	市立図書館	9,000冊	12,381冊	11,833冊	8,235冊	
C	10代の若者を対象とした催しの実施	市立図書館	年2回	2回	2回	1回	

◎発達段階をまたぐ指標【再掲】

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考（実施しなかった又は遅れている理由等）
			（R6年度）	R4年度	R3年度	R2年度	
A	調べる学習コンクールの出品点数	小学校 中学校	約670点	960点	1,112点	1,069点	
B	第1～4期の子どもに対する貸出冊数の合計	公民館等	約1,100冊	571冊	902冊	882冊	

※集計対象：小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果がなく、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

(中学校)

(中学校)

【第4期・新規の取り組み】

- ・ 図書委員会がおすすめの本のカードを作り、館内に掲示する
- ・ 館内に展示やPOPを増やす

《所見》

中学校において、ビブリオバトルが教育課程に含まれないこともあって、発表内容を考える生徒たちや指導する教員の負担となる場合があり、実施の難易度は高いと考えられている。この年代の子どもたちが多忙で、読書の時間が少ないと言われているが、市立図書館での貸出冊数を見ると、読書の機会が必ずしも減っているとはいえない。

○施策の方向性

- A. 読書をする機会、様々な図書に触れる機会を拡充する
 ≪Web情報を含む情報提供、電子図書の活用など≫
- B. 働きかけを行う側に立つ機会をつくる
 ≪子どもが年少者に読み聞かせる取組、POPづくり、ビブリオバトルなど≫

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
やや遅れている	概ね順調	やや遅れている
順調	概ね順調	遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考（実施しなかった又は遅れている理由等）
			（R6年度）	R4年度	R3年度	R2年度	
A	月に1冊以上本を読んだ生徒の割合	高校	50%	39%	49%	38%	
A	16～18歳の子どもに対する貸出冊数	市立図書館	約4,200冊	3,825冊	4,371冊	4,578冊	
A、B	ビブリオバトル大会の参加校数	市立図書館	10校	4校	4校	0校	
B	年少者への読み聞かせを行う生徒の人数	高校	15人	17人	0人	0人	
B	高校生ボランティアの人数	市立図書館	2人	3人	4人	0人	

※集計対象：小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

≪所見≫

現状では、高校生はビブリオバトルに馴染みがないため、参加校数が少ないのではないかとと思われる。（市内の高校ではビブリオトークを行っている。）

特別な支援が必要な子ども（0～18歳）

○施策の方向性

- A. 図書の利用を支援する
 ≪外国語の本や視覚障がい等に配慮した図書館資料のさらなる充実など≫
- B. 子どもの本が利用できる施設の利用を促す
 ≪英語のお話会の開催、支援を行う人材の育成、各種サービスの情報提供など≫

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
順調	順調	順調
遅れている	遅れている	遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考（実施しなかった又は遅れている理由等）
			（R6年度）	R4年度	R3年度	R2年度	
A	外国語（バイリンガル）絵本の所蔵数	市立図書館	300冊	884冊	614冊	509冊	
A	点字絵本の所蔵数	市立図書館	40冊	38冊	38冊	39冊	
A	音読機能付きの子ども向け電子書籍の所蔵数	市立図書館	120点	100点	100点	127点	
B	英語のおはなし会の実施回数	市立図書館	年20回	0回	0回	0回	㊦
B	視覚障がい者等の円滑な図書館利用を支援する担当者数	市立図書館	2人	1人	0人	0人	
B	特別な支援が必要な子どもにとって利用しやすい図書館資料を所蔵する学校の割合	小学校 中学校 高校	100%	100%	100%	93%	

※集計対象： 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果が無い、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども（または保護者）が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

《補足説明》

点字資料(図書、絵本)、LLブックを収集している。(中学校・小学校)

特別支援学級にも学級文庫を配置し、その他、特別支援学級には定期的に児童が選んだ本を50冊ほど
まとめて「学級文庫」として団体貸出しをしている(小学校)

平易な文・写真の学習図書・絵本(知的障害・学習障害のある子どもの理解を助ける)(小学校)

低年齢向け図書の用意。地球儀などの学校備品をかりて地図の本と展示するなど、本を読まなくても図書
館に来てもらう工夫をしている。(小学校)

中学校ではあるが、ふりがなつきの小学生向け図書も購入するようにしている。(中学校)

《所見》

市立図書館では、コロナ禍のため、不特定多数の子どもが集まるイベントを中止してきたが、現在は再開している。

(2) 子どもの本を利用できる市内の施設の環境の整備充実

①ハード面の充実

○施策の方向性

- A. 市民が身近な施設で子どもの本を利用できる環境をつくる
《子どもの本の充実、読書のためのコーナーづくりなど》
- B. 市立図書館の図書の充実を図る 《学校図書館支援図書の充実など》
- C. 団体貸出、相互貸借の推進を図る
《配本サービス、学校図書館連絡車、横断検索システムの利活用など》
- D. 市立図書館による地域の施設の活動を支援する
《展示会への会場提供、巡回展への作品提供など》

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
概ね順調	やや遅れている	遅れている
順調	順調	順調
概ね順調	やや遅れている	遅れている
概ね順調	やや遅れている	遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
A	子どもの本の所蔵数合計	保育園等 子育て支援センター 児童館 公民館等	32,000冊	34,344冊	23,492冊	22,340冊	
A	子どもの本の貸出冊数合計	保育園等 子育て支援センター 児童館 公民館等	24,000冊	10,841冊	11,597冊	10,531冊	㊦
B	市立図書館の蔵書数	市立図書館	248,000冊	235,557冊	221,025冊	208,085冊	
B	学校図書館支援図書の所蔵数	市立図書館	1,800冊	2,033冊	2,162冊	2,065冊	
C	学校図書館連絡車による図書の運搬数	市立図書館	2,400冊	1,643冊	1,832冊	1,952冊	
C、D	学校図書館への団体貸出冊数	市立図書館	750冊	754冊	670冊	677冊	
C、D	地域の施設への団体貸出数	市立図書館	700冊	668冊	341冊	0冊	

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
D	市民学習センターにおける子どもの作品展にかかる会場提供	市立図書館	年5回	3回	4回	2回	

※集計対象: 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果が無い、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

《所見》

コロナ禍のため、イベントの中止や、人数制限、利用時間制限を行っていたため、貸出冊数が伸びなかったと考えられる。また、保護者が保育園内に入ることができない状況であったため、親子で本を選ぶということが難しかったが、現在はコロナ禍前の状態に戻りつつある。

②人的体制の整備

○施策の方向性

- A. 職員の能力の向上を図る
 ≪司書連絡会、読書に関する研修への参加及び開催など≫
- B. 連携事業を開催する ≪市立図書館の展示物の貸出、子どもの作品の市立図書館への貸出、高校生が年少者に読み聞かせる取組など≫
- C. 図書ボランティアの発掘・育成を行う
 ≪図書ボランティア講座、図書ボランティアの活動受け入れなど≫
- D. 図書ボランティアの活動を支援する
 ≪ボランティアへの優遇的な貸出、絵本の充実や紙芝居舞台等の貸出など≫

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
やや遅れている	やや遅れている	遅れている
やや遅れている	遅れている	遅れている
遅れている	遅れている	遅れている
やや遅れている	遅れている	遅れている

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
A	司書連絡会の開催回数	市立図書館、小学校、中学校、高校、生涯学習課	年12回	12回	11回	10回	
A	子どもの読書に関する研修の開催回数	学校等 市立図書館	約年30回	11回	18回	8回	㊦、㊧、㊨、㊩、㊪
A	子どもの読書に関する研修に参加した職員数	学校等 市立図書館	約年350人	243人	306人	160人	㊦、㊧、㊨、㊪
B	子どもの読書に関する連携事業数	保育園等 児童館 子育て支援センター 小学校 中学校 高校 市立図書館 生涯学習課 健康推進課 公民館等	約年220回	149回	96回	110回	㊦、㊧、㊨、㊩

施策の 方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった 又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
C	図書ボランティアの活動回数	公民館等	年50回	1回	0回	0回	㊦、㊧、㊨、㊩、㊪
C	カレードサポーターの人数	市立図書館	90人	61人	65人	64人	
D	ボランティアに対する絵本等の貸出冊数	市立図書館	350冊	239冊	198冊	90冊	

※集計対象： 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【㊧その他の理由】

研修会でなく、紙面による報告情報伝達を月に1度程度行っている。

(中学校)

研修については新年度に向けて検討していきたい。

(中学校)

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果がなく、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

《所見》

子どもの読書に関する連携事業は、コロナ禍のため他施設との交流を控えたことにより開催数は伸び悩んだと考えられる。

(3) 子どもの読書活動に関する啓発

①保護者及び子どもの身近な大人への啓発

○施策の方向性

- A. 保護者が子どもの読書に触れる機会をつくる 《保護者による図書整理活動、読書テーマにした舞台制作の体験や舞台発表を保護者に見てもらう取組、保護者向けの学習会など》
- B. 家庭での読書を推奨する 《おすすめの本を紹介したチラシの配布や展示など》

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
順調	順調	順調
順調	順調	順調

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
A	読書に関するボランティアへの保護者の参加者数	保育園等	150人	15人	11人	21人	㊦、㊧、㊨
A、B	おすすめの本のリストを配布する施設の割合	保育園等 市立図書館	40%	77%	65%	50%	㊦、㊨
A、B	おすすめの本を紹介する展示を行う園の割合	保育園等	80%	88%	81%	67%	㊦

※集計対象: 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果が無い、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

《補足説明》

コロナ禍により保育園に保護者の方が入れなかったため、保護者向けにSNSで新規購入した絵本を紹介した。（保育園等）

ペーパーレスのためメールでお勧めの本リストを送っている。（保育園等）

おすすめの本のリストは玄関のボックスに設置し持ち帰り自由としている。（保育園等）

《所見》

コロナ禍では原則、保護者が園内に入れなかったため、ボランティア参加者数は伸びなかったと考えられる。
本の貸出数は伸び悩んでいたが、おすすめの本のリストの配布等は積極的に行われていた。また、SNSを活用し、配布が行われるようになった。

③計画の周知、広報

○施策の方向性

- A. 広く市民を対象としたPRを行う《子ども読書活動推進計画の周知、一般市民を対象とした「子ども読書の日」取組の告知、啓発素材の提供など》
- B. 「ののいち子ども読書の日」を実施する《読書に関する催事、啓発活動、その他読書に関する取組》
- C. 「ののいち子ども読書活動4か条」の活用を図る《ポスター掲示、印刷物への刷り込みなど》

施策の評価		
R4年度	R3年度	R2年度
順調	順調	順調
順調	順調	順調
順調	概ね順調	順調

◎評価指標

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
A	ホームページ、SNS、広報誌を活用した計画の周知	生涯学習課 市立図書館	実施	実施	実施	実施	
B	ののいち子ども読書の日を取組を実施した施設の割合	保育園等 児童館 子育て支援センター 小学校 中学校 高校 市立図書館 生涯学習課 健康推進課 公民館等	95%	93%	86%	76%	ア、ク
B	ののいち子ども読書の日を取組ののべ参加者数	保育園等 児童館 子育て支援センター 小学校 中学校 高校 市立図書館 生涯学習課 健康推進課 公民館等	5,000人	9,962人	10,005人	6,253人	

施策の方向性	指標名	実施主体	目標値	実績値			備考(実施しなかった又は遅れている理由等)
			(R6年度)	R4年度	R3年度	R2年度	
B	ののいち子ども読書の日における大人のための催しの開催数	市立図書館	年2回	1回	0回	-	
C	「ののいち子ども読書活動4か条」の掲示、お便り等への掲載を実施したのべ施設数	保育園等 児童館 子育て支援センター 小学校 中学校 高校 市立図書館 生涯学習課 健康推進課 公民館等	44施設 ※現在42施設	39/42施設	35/42施設	39/42施設	

※集計対象: 小学校5校、中学校2校、高校1校、保育園等16園、子育て支援センター6か所、児童館4館、公民館等5か所、市立図書館、健康推進課、生涯学習課

【実施しなかった又は遅れている理由一覧】

- ㊦ コロナ禍のため事業ができなかったから
- ㊧ 取り組みの効果が無い、または必要性を感じないから
- ㊨ 人手が足りない、またはノウハウが不足しているから
- ㊩ 関係する他機関・団体との調整が難しいから
- ㊪ 子ども(または保護者)が忙しく、時間が取れないから
- ㊫ 対象年齢の子どもの来館が少ないから
- ㊬ 予算の確保が難しいから
- ㊭ その他

《補足説明》

家庭教育サポーターのスキルアップの研修で、ブックスタートの講座を行った

(生涯学習課)

放課後子ども教室のプログラムに出前文庫を取り入れた

(生涯学習課)

計画の趣旨を保育園長会議、子育て支援センター会議、児童館長会議等で説明し、市のホームページや市広報に掲載した

(生涯学習課)

「ののいち子ども読書活動4か条」こそだてだより、ホームページでお知らせした

(子育て支援センター)

《所見》

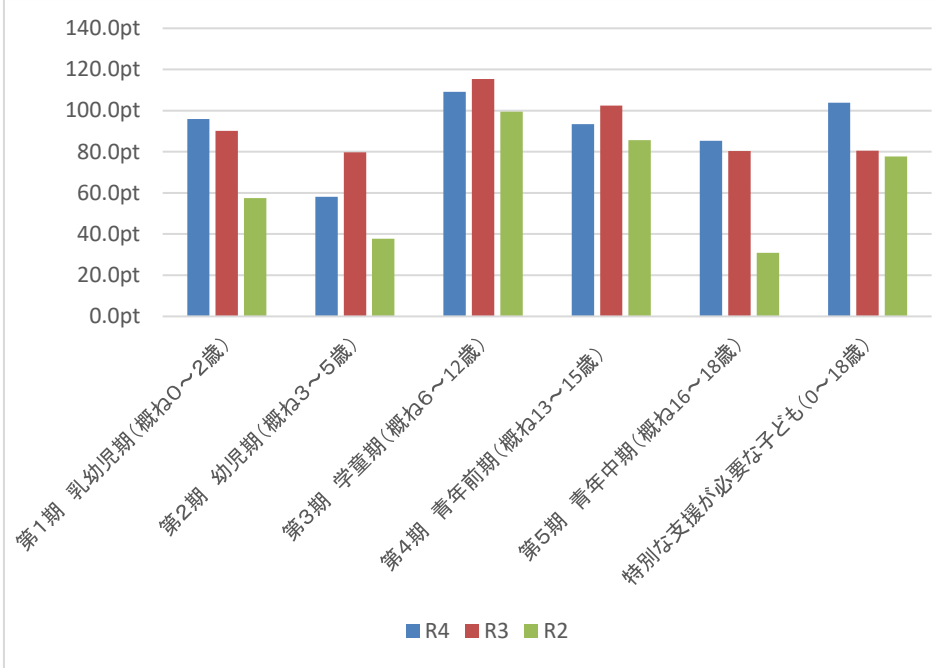
「ののいち子ども読書の日の取組」はコロナ禍においても積極的に行われていた。
 「ののいち子ども読書活動4か条」を掲示している施設の数に対し、配布している施設は比較的少ない。

基本施策の評価

(1)発達段階に応じた家庭、地域、学校、社会全体における取り組みの推進

	基本施策(1)の達成度		
	R4	R3	R2
第1期 乳幼児期(概ね0～2歳)	96.0pt	90.2pt	57.4pt
第2期 幼児期(概ね3～5歳)	58.1pt	79.7pt	37.7pt
第3期 学童期(概ね6～12歳)	109.2pt	115.3pt	99.5pt
第4期 青年前期(概ね13～15歳)	93.4pt	102.4pt	85.7pt
第5期 青年中期(概ね16～18歳)	85.4pt	80.3pt	30.8pt
特別な支援が必要な子ども(0～18歳)	103.8pt	80.5pt	77.7pt

基本施策(1)の評価
順調
遅れている
順調
順調
概ね順調
順調

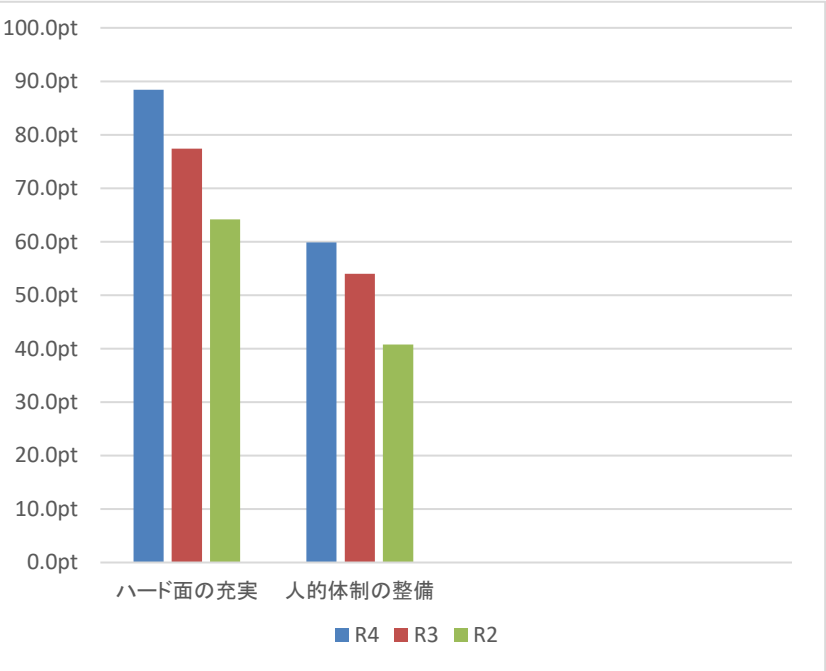


第2期幼児期の子どもに対する取組に遅れがみられたが、指標にある児童館と公民館にはそもそも対象年齢の来館者が少ない実情がある。また、コロナ禍など、やむを得ない点がある。その他の年代では概ね順調であった。

(2)子どもの本を利用できる市内の施設の環境の整備充実

	施策の達成度		
	R4	R3	R2
ハード面の充実	88.4pt	77.4pt	64.2pt
人的体制の整備	59.9pt	54.0pt	40.8pt

基本施策(2)の評価
概ね順調
遅れている

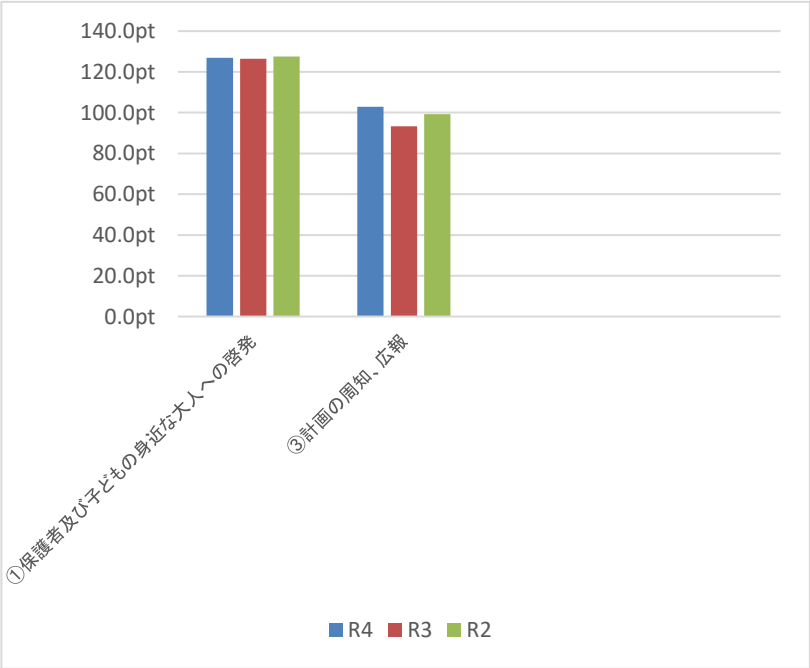


コロナ禍、職員の多忙等の理由から、人的体制の整備が進まなかった。

(3)子どもの読書活動に関する啓発

	施策の達成度		
	R4	R3	R2
①保護者及び子どもの身近な大人への啓発	126.9pt	126.5pt	127.6pt
③計画の周知、広報	102.8pt	93.4pt	99.3pt

基本施策(3)の評価
順調
順調



保育園等における保護者のボランティア参加者数はコロナ禍の影響もあり少なかったものの、「ののいち子ども読書の日」の取り組みは活発に行われた。